

日本興亜9条の会たより

No.44

2026
/09

日本興亜9条の会事務局発行
(連絡先) 和田 典彦
090-6523-1351
nrhkwd1951@yahoo.ne.jp

この政治の行先に平和や安心があるのか

いま日本は、9条改憲をはじめ「戦争国家」への道突き進むのか、憲法9条を生かして平和をつくる道を歩むのかの岐路に立っています。

高市政権・自民党・維新の会は、国会における数の力で強引な政権運営を無反省に続けています。そこには物価高にあえぐ国民の姿や世界平和を願う多くの市民の声を、何から何まで無視する冷たさが垣間見えます。

首相は、広島・長崎の平和祈念式典挨拶で将来の非核三原則堅持を明言しませんでした。8月15日の全国戦没者追悼式の式辞から戦争への「反省」の言葉が消えました。とても歴史の教訓を踏まえているとは考えられません。

2月の第二次高市政権発足後「改正皇室典範」、「国旗損壊処罰法」、「副首都法」、「改正防衛省設置法」、「国家情報会議設置法」、「予備自衛官等兼業特例法」など現状にそぐわない、また、問題のある法律を次々に成立させてきました。さらに、非核三原則の見直しを含む安保三文書改定に踏み込もうとしています。この秋の臨時国会では、「衆院比例定数削減」、「2年間限定の消費税減税」、「緊急事態条項を先行させる9条改憲発議」などが焦点となって予断を許しません。

高市政権の軍事関連産業に傾斜した戦略分野への積極投資方針は、異常な赤字財政状況を一層悪化させ国債の金利上昇（価格暴落）とさらなる円安を呼び、結果として物価高騰下での暮らしをより圧迫する要因となっています。武器輸出全面解禁は本格的な「軍事産業国家づくり」への入り口にすぎません。

7月28日に震度7の大地震が熊本を襲い、8月13日から14日にかけてのお盆に豪雨が千葉を直撃しました。命を亡くされた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願ってやみません。猛暑が残る中で冷房もない避難所、非常時の水の確保、高齢被災者や災害弱者への対応など、自然災害が多発する我が国が備えるべき防災体制の脆弱さが浮き彫りになっています。国のトップが『自助』を語る政治の貧しさを改め、『軍拡より防災』を心に刻み、国民に目を向けた民主的な政権運営を図ってほしいものです。

暮らしといのちの議論なく
大軍拡と軍事産業国家づくり
世論無視の強行採決の数々



10月24日(土)14時開会

損保9条の会 秋の講演会ご案内

憲法9条には「武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」そして「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」とあるにもかかわらず、抑止力の名のもと「戦争する国」づくりが着々と進められ、9条改憲も目論まれています。

今回、憲法学者の清水雅彦氏に講演をお願いし、憲法9条の意義や目的を再確認し、「戦争ができる国」への動きに歯止めをかけ、憲法9条を守り抜く確信を得たいと考えます。

講演会終了後は懇親交流会（会費4,000円程度）を予定しています。講師も参加いただける予定です。三井住友海上や東海日動・日新の9条の会の仲間などと懇親・交流を深め合いたいと考えています。皆さま、ぜひご参加下さい。

参加いただける方は人数把握のため講演会・懇親会の出欠を10月12日(月)までに和田までご連絡下さい。連絡先はこのページ一番上に記しています。

講演:憲法9条を守り抜く!—「戦争する国」づくりに抗して—
講師:清水 雅彦氏(日本体育大学教授・憲法学、九条の会世話人)
日時:10月24日 13:30開場、14:00開会、16:40閉会
場所:王子駅 北とびあ15階 ペガサスホール
協力費(資料代):1,000円

皆さまのご協力に心から感謝いたします

「たより」前号で、当会から皆さまに3つのお願いをしました。

いずれに関しても私たちの想定を超えるご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

カンパは46万円を突破

(8月末日現在、重複していただいた方も含む)

現金 56名から 365,578円

切手 12名から 98,126円

合計 68名から 463,704円

底をついていた財政も一気に解消、今後も皆さまの期待にかなうよう、「たより」の発行など、大切にに使わせていただきます。

署名は 160 筆に到達

憲法9条改憲に反対する請願署名は、8月末日現在48名から160筆届いています。

当会からの依頼が若干遅かったこともあり、他の取り組み団体で既に署名を済まされた方も多かったようです。引き続き取組みますので、未署名の方はご送付をお願いします。

「折り鶴」は 4,176 羽にも

「折り鶴」は80名に加え、ある団体の方からも協力いただき4,176羽にも達しました。損保9条の会全体では8,534羽となり、「折り鶴」に平和の思いを込め損保9条の会代表4名が、8月6日広島平和公園での損保従業員原爆犠牲者慰霊祭で全損保碑に4,000羽を手向けました。

残る4,500羽余りは11月の損保9条の会長崎平和ツアー時に持参し、長崎平和公園の平和祈念像碑や爆心地碑に奉納する予定です。



【糸通し作業にご協力いただいた皆さん】

皆さまの声やエピソード

今年も折り鶴を送らせていただくことができました。一人で平和を願いながら折りましたので、広島へのおともにお連れ下さい。本当に地球上から核がなくなるといいですね。9条の会いつも応援しています。(Mさん)

平和活動の千羽鶴のことを知り、ある会で友人に話したところ、一人でも多くの方に協力してもらおうと提案してくれました。得意な方は会場でも家でも…。家族や



全損保の慰霊碑に折り鶴 4千羽

知り合い、友人などにも伝わり60名くらいの方が協力してくれました。(Aさん)

“平和”とは世界中がそうでなければ平和であるとはいえないのですが、まずは私の周りの方が「仕合わせ」と思えるように、私の心の中の「争う心」を排していきたいと思います(Aさんのご友人)。

千羽鶴の話を伺い「平和を願う」活動に協力させて頂きたいと心を動かされました。争いは国と国だけではなく、人と人、日常の心の使い方にも大きく関係していると学びます。私は、鶴を折りながら争わない平穏な心を培っていければと、心させてもらえました。誠にありがとうございました(Aさんのご友人)。

私は戦争の恐ろしさを経験したことはありませんが、大切な子どもや孫たちの未来が平和でありますようにと、願わずにはおられません。(Aさんのご友人)。

※※※※※※※※※※※※※※※※

いつも日本興亜9条の会たよりを興味深く読ませていただいています。私事ですぐ理由あって身辺整理をしております。少しでもございますが、当方で使用する予定のない切手とカンパを送らせていただきます。ご利用いただけると幸いです。(Sさん)